

宮崎大学発 都農町かわら版

令和7年2・3月号



宮大が都農町寄附講座等
で行っている活動や情報を、
定期的にお知らせしま
す！



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実に図ることを
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町として
単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、**宮崎県内では初めての取り組み**です。

出口先生より退任に寄せてご挨拶

出口近士 地域資源創成学部 都農町寄附講座 特別教授
1988～2015 宮崎大学工学部 准教授・教授
2016～ 地域資源創成学部 教授を経て2020年より現職
専門：都市計画、交通まちづくり 大分県出身

令和2(2020年)年4月から地域資源創成学部地域経営学講座(都農寄附講座)の特別教授として学生達と一緒に実習科目の「地域探索実習Ⅰ、Ⅱ」、「PBL:Project Based Learning」、ゼミ活動の「地域産業創出実践Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」、「卒業研究」を通じて都農町の地域活動に関わらせて頂きました。

寄附講座がスタートした令和2年は新型コロナが発生し、学生の移動や町民のみなさまとのコンタクトも制約される中でしたが、旧10号線沿線の皆様、寺迫地区と下浜地区の皆様には「地域探索実習Ⅰ」で地域資源や地区の伝統文化や課題についての講話や意見交換を頂き、都農町での実習をスタートさせることができました。また、「地域探索実習Ⅱ」では(株)都農ワインを訪問させて頂き、ブドウ栽培、ワイン醸造、営業・運営などの講話を頂きました。2023年からは「PBLⅠ、Ⅱ」の担当となり、寺迫地区でのそば打ち交流の開催、下浜地区でのこどもカフェでのクリスマスパーティへの参画、南新町のふれあいの居場所でのお楽しみ会の開催、都農ワインハーベストフェスタや旧車の祭典へ参加、彌勒祐徳絵画展などで学生達が大変お世話になりました。

「卒業研究」では2023年度は3名の学生と一緒にコミュニティ交通、サイクルツーリズム、町道・東裏線の歩道環境改善、2024年度は2名の学生と移住へのソーシャルネットワーク(SNS)利用、下浜地区では自動車を併用した津波避難の調査・分析を実施して政策提言をさせて頂きました。

12/6 PBL 福祉教育@都農小学校

社会福祉協議会との連携により、12月に都農小学校4年生2クラスの福祉学習教室で、PBL受講生の一年生渡部さんが視覚障がいについての授業を行いました。自身の全盲という特性について、スライドを作成して説明する初めての経験でした。子ども達は白杖や点字電子機などを触ったり、日常生活に関する質問をしたり、と交流を楽しんでいました。

当日の詳しい様子は都農小ホームページへ。



2/14 卒論・活動発表会を開催しました

地域学部寄附講座の卒業研究およびゼミ活動、医学部LIC活動発表とチャレンジプログラムの活動報告の発表会を開催し、町長、副町長、町議員の皆様をはじめ約30名のご参加を頂きました。

それぞれの発表に皆様からは、ご質問や、実際に町で生かすために必要な視点のご指摘のほか、すぐに町で生かせる内容もあるなどのご感想を頂きました。学生はこれまでお世話になった町の皆様に成果をご披露して直接ご意見を伺うことができ、充実した時間となりました。ポスター展示はPBL、探索実習、卒業研究ほか合わせて約40点を掲示しました。当日来られなかった方も



多かった
為、3/19
役場にて、
再展示し
ます。
(詳細裏面)



5年の間に頂きましたご支援とご厚情に
深く感謝申し上げますとともに、ご縁を糧に
交流人口の一人として関わらせて頂きたいと
思いますので、今後ともご交誼の程を
宜しくお願い申し上げます。

シリーズ医学生に密着 ③救急実習

救急車の受け入れの段階から医学生も関わります。状態が悪く、急を要する患者さんも多いため、通常の外来や病棟診療とは異なり、**いかに効率的に短時間で危険な病気や状態を把握するかが重要**です。救急車を降りた瞬間から、呼吸や血圧・意識の状態を確認し、必要であれば速やかに治療していきます。軽症であればそのまま帰宅となることもあります。救急車の搬送時には注意深い評価が必要なので、医師と一緒に医学生が同乗することもあります。

このような緊急性の高い状況で医学生の診療は不安、と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、必ず指導医と一緒に評価をしています。救急時は患者さんの話を効率的に聞き取る必要があるため、話を遮ったり、矢継ぎ早に質問する場合がありますが、状態が落ち着いてから改めてゆっくりお伺いしています。

一分一秒を争うこともある救急外来での実習は、知識だけでなく体験として記憶に残る、とても貴重な学びの機会です。患者さんの安全を確保した上で、これからも実習を行って参ります。



2/21 つのまるケアミーティング

介護施設で人生の最期を迎えられた方に付き添われたスタッフが、どのような思いで対応されたのかを事例から学ぶ勉強会を行い、病院内外から45名が参加しました。

看取ることへの不安や怖さがあるのは皆さん同じですが、やはり入居者さんの希望を叶えたい、最期まで一緒に過ごしたいという想いが活力となるようです。それを実現するためには病院や介護職スタッフとの連携は欠かせないことも再認識しました。



2/11 第57回都農尾鈴マラソン大会に出場しました！



今年も町立病院の先生やスタッフさんに交じり、医学生や研修医の先生も参加。晴天にも恵まれてみんな無事に完走しました！参加賞のワインやお弁当を受け取り、豚汁も美味しくいただきました。来年も頑張りますよー！

コラム

つのまるケア講座 日常の一コマ by 枝元先生

先日は都農尾鈴マラソンがあり、私は体力的な問題もあって出場を見合わせましたが、大盛況でした。総合診療科の若手医師は基本的に1年で異動となりますが、実はイベントごとに都農町に戻ってくる者も多くいます。今回のマラソンも若手医師や研修医が参加させていただき、久しぶりの都農町を満喫していました。私のように一旦異動で離れても再度都農町でお世話になったりすることが今後もあると思いますが、何らかの形で都農町に関わり続けたいと思う医師も多いので引き続きよろしくお願いいたします！

☆☆今月の実習生紹介☆☆

2/17～6/13*

医学部医学科 5年生

町立病院にてLIC長期臨床実習

望月 勝太郎(もちづき しょうたろう)さん

*春休み・GW除く



出身：東京都 趣味：その土地のお店に行くこと
部活：水泳、ワンダーフォーゲル、FMIG（家庭医療サークル）
ひと言：都農町の皆様のご協力のおかげでとても実りになる実習ができており、感謝が尽きません。病棟でも外来でも優しく接していただき、都農町で実習ができてよかったと思っています。至らない点も多いですが、日々目の前のことに精進し、成長できるように頑張っていきます。

2/19 宮大チャレンジプログラム発表会dotcubeが報告発表

今年度採択された13の学生チームが活動をポスター発表し学内投票、表彰式がありました。都農町地域枠採択の文化部dotcubeが、町内小中学生向けに計6回開催した「未来クリエイター育成講座」について動画とポスターにより発表しました。引き続き来年度の都農町での活動に期待したいです。



予告

3/19(水) 実習・PBLポスター・卒論展示

11:30～15:00 @ 町役場新館一階会議室

観覧自由

卒業研究をはじめ、学生の力作のポスター約40点を再展示します。都農町にて学生が学んだ成果・アイデアを見に、是非お越しください。



デジタル版

編集・作成：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構
発行日：2025年3月3日（原則毎月発行）
発行元：一般財団法人つの未来まちづくり推進機構
問い合わせ：0983-32-1270（つの未来財団）